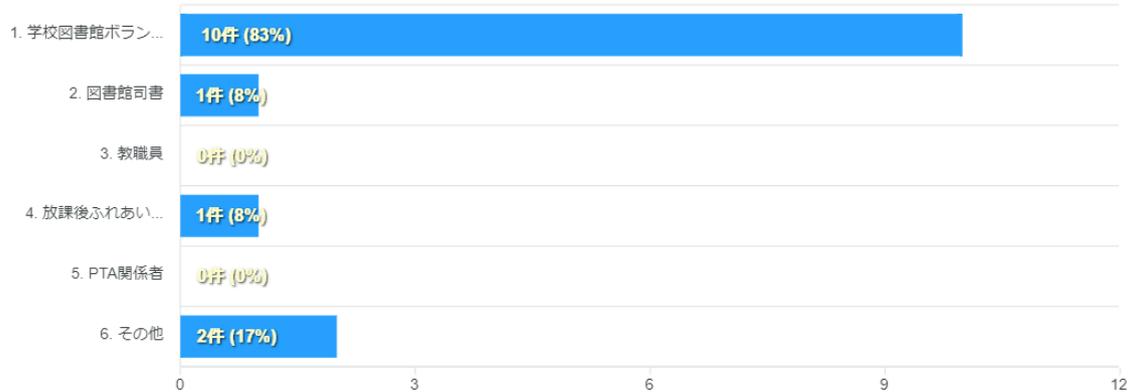
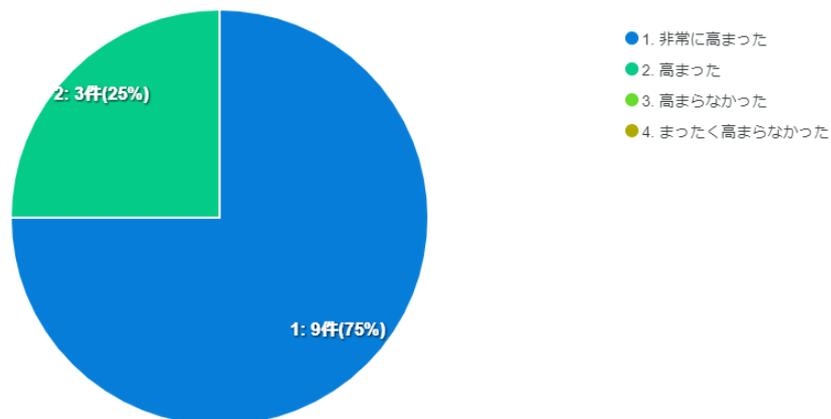


橋本市学校図書館ボランティアネットワーク座談会 アンケート結果

問1. どのような立場でご参加されましたか。



問2. 研修会を終えて、学校と地域の連携・協働に対する理解度は深まりましたか。



問3. あなたが学校と地域の連携・協働を推進する上でのキーワードは何ですか。

- 絵本は道徳教育
- 本は面白い。面白さを知らなきゃ人生の損。
- 自分が本を読む。見つけるための入口という言葉。
- 大人も読むこと
- きっかけは何でもよい。居場所づくり。
- 一緒に触れる、語り合う
- 身近に本がある環境
- 子どもたちと笑顔で接し、他愛もない話をする。

- 興味のわくわく本を見つけて、自分の世界を広げてもらえれば良いかな。
- 楽しく思い続けること。わくわく。
- 学校図書館の関係者としては、まず、居心地良く環境を整えること。読書する、しないに関わらず「この場所好き」と感じられる場に。家庭では本がある環境を作り、本のことでおしゃべりしてみる

問4. 研修会を受けて、明日からやってみようと思ったことがあればご記入ください。

- 学校運営協議会でいろいろ話し合う
- 大人向け宿題用のリスト
- 小説にタイトル見出しをつけてみようと考えています。
- 自分も本を読む
- 子どもたちに何でも声かけ。「新しいよー。入ってきたばっかし。」などなど
- 興味がある本を目立つ所に置く
- 伊藤さんの行動力にただただ感服です。伊藤さんのようなリーダーが身近にいていただきたいと思いますが、自分にはできないので、リーダーを補佐するような存在になりたいです。
- アンテナを立てて、いろんな本をリサーチする。
- 今日聞いた絵本をまず自分で読んでみたいと思います。
- できることから・・・学校に連絡をしてみよう
- 興味をひく展示物、いつでも読める場所の充実、こどもが参加できる企画で図書室まで足を運んでもらう……等等、結構いい線いってる活動がありました。これからは自信をもってこの活動を進めていけます。

問5. また、このような機会があれば参加したいと思いますか。

